


学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

4年1組	指導者	梶原 真樹子	教科等	算数科
単元名等 角の大きさがいろいろ変わるね（角度）				
目標		評価規準	 ※どちらかを選択し、 <u>で囲ってください。</u>	
知識及び技能		知識・技能	○角の大きさを回転の大きさとして捉え、その単位「度（°）」の意味や分度器を用いた測定の仕方、角のかき方を理解し、測定したりかいたりすることができるようにする。	
思考力、判断力、表現力等		思考・判断・表現	◆各の大きさについて、既習の測定の考え方をもとにして、単位のいく分でとらえる方法を見出すことができるようにする。また、 <u>180°より大きな角のはかり方やかきかたを工夫することができるようにする。</u>	
学びに向かう力、人間性等		主体的に学習に取り組む態度	○身の回りにある形を角度に着目して捉えようとするなど、角の単位や測定を生活や学習に生かそうとするようにする。	
単元の学習展開（全7時間）				
導入	<input type="checkbox"/> 回転による角の定義について学習する。 <input type="checkbox"/> 角の表し方、分度器の仕組みと使い方について学習する。			
展開	<input type="checkbox"/> 分度器を用いて角度を測る。 ・ 180° 以下の角度の測定する学習。 ・ 180° より大きい角度を測定する学習。 <input type="checkbox"/> 分度器を用いて与えられた大きさの角の作図を学習する。			
終末	<input type="checkbox"/> 角のかき方を用いた三角形のかき方を学習する。			

本時 （4 / 全7時間）	ねらい	<u>180°より大きな角度を、</u> 分度器を用いて180°より大きくなった部分に着目したり、360°から小さい方の角度に着目したりすることによって、 <u>工夫した測り方を説明することができるようにする。</u> （下線部…単元の評価規準との関連【◆思考・判断・表現 ノート・タブレットの記述】）	
	学習過程	「めあて」 「180°より大きな角度のはかり方を考えよう。」 『課題』 『どこの角度が分かればいいのか。』 『まとめ』 『180°より大きな角度は、180°を取った残りの角度が分かればよい。または、360°にたりない角度が分かればよい。』 「振り返り」の視点 ・ 求めるべき角度の部分を理解できているか。 ・ 角度を求める時、どの部分を見つけるとよいのか説明できたか。 ・ 友だちの意見で、納得した部分をあげることができたか。	
	努力を要する状況の児童に	【予想されるつまずき】 ・ どの部分の角度を求めるとよいのかわからない。 ・ 180°を見つけないことができない。 ・ 360°からとればよいということが分からない。	【必要な支援・手立て】 ・ 全員で求める部分に色をつけて、見やすくする。 ・ 180°に切り取った角度のものを準備して、本時で求めるものが180°より大きなものだとして理解しやすくする。 ・ 小さな角度の分の画用紙を用意して、必要な角度に目が向くようにする。